

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	地域での暮らしを支えるしくみ		必修/選択の別	必修	業時数(単位)	15 (1) 時間(単位)
対象学年	1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	202,203
担当教員	福崎 友和	実務経験と その関連資格	実務経験: 地域医療連携室、医療相談室、地域包括支援センター、訪問看護 資格: 看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員			
《科目目標》 1. 豊中市の取り組みから療養生活を支える制度や仕組みについて理解する。 2. 学校周辺のフィールドワークを通して高齢者・障がい者・母児の視点で地域の特徴や課題、自助・互助の実際を探求する。						
《成績評価の方法と基準》 【評価方法】グループワークへの参加状況・課題レポート50%、終講試験50% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版						
《授業外における学習方法》 GWでは積極的に質問することで、より深い学びとなるように事前準備を行う。 毎回の学習については授業以外での準備学習の具体的内容を参照する。						
《履修に当たっての留意点》 社会保障制度論で学んでいる生活を支える制度について豊中市の取り組みを調査し理解を深める。学校周辺のフィールドワークを実施し、身近な地域の暮らしと健康に関心を向け、地域の特徴や課題を発見する。2年次には本科目の学習内容を社会保障論、公衆衛生学、地域包括ケアシステム論等と関連付けて理解していく。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	暮らしを理解する		テキスト 配布資料 豊中市HP	自分が住む地域の特徴を事前に調べておいてください。例として、自宅周辺の病院・学校・スーパー・駅・公園・介護施設・福祉施設など、思いつものメモをしてください。調べた内容は、講義当日のグループワークで使用します。作成したものは指定日時に提出。	
	各コマにおける授業予定	地域で暮らすということ 自分の暮らす地域の特徴について調べる 各自の暮らす地域の特徴をグループで共有する				
第2回	授業を通じての到達目標	認知症サポーター養成講座の概要を調べる		テキスト 配布資料 豊中市HP	認知症のある人と関わったことはありますか？講義の前に、次のことを考えてみましょう:①認知症の人に、どう接したらよいと思いますか？②どんなサポートがあれば安心して暮らせそうですか？③あなたの地域で、できそうなことはありますか？	
	各コマにおける授業予定	1) 認知症者とサポーター数(全国・豊中市) 2) 認知症サポーター養成講座についての概要 3) 認知症高齢者・障がい者徘徊SOSメール				
第3回	授業を通じての到達目標	豊中市の地域特性について調べる ※フィールドワークの準備		テキスト 配布資料 豊中市HP	第1回で描いた「自分の住んでいる地域の地図」を見直してみましょう。そこにある場所や施設(公園、坂道、病院、商店など)について、次のような視点で考えてみてください。・高齢者や子どもが安心して暮らせそうか？・地域の「よいところ」や「気になる点」は？・支援やサービスが足りているか？グループで共有し、地域の特徴について考える材料にします。	
	各コマにおける授業予定	1) 自然環境、社会的環境、文化的環境、健康状態、施設(医療・保健・介護・福祉)の視点で地域を捉える 2) 豊中市の取り組みを調べる ①健康づくり、②生活(暮らし)、③防災・災害、④母児・高齢者・障がい者児を支える制度を踏まえてフィールドワークの計画が立てられる				
第4回	授業を通じての到達目標	フィールドワークを通して、豊中市での暮らしの実際を知ることができる		テキスト 配布資料 豊中市HP	事前にフィールドワークの計画を完成させ、フィールドワークが行えるように準備しておいてください。	
	各コマにおける授業予定	母児・高齢者・障がい者児が生活する視点でフィールドワークを行い、住民の生活環境における強みと課題を客観的な事実として記録できる				
第5回	授業を通じての到達目標	豊中市での暮らしの実際をまとめることができる		テキスト 配布資料 豊中市HP	フィールドワークの内容を事前に整理して講義内でまとめられるように準備しておいてください。	
	各コマにおける授業予定	フィールドワークした内容をまとめる。(観察した事実に基づき、対象者の視点(母子・障がい者・高齢者)から地域を評価できる。)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	まとめ発表を通して学びを共有し深められる	テキスト 配布資料 豊中市HP	他のグループの発表からの学びを深め、指定した日時に提出。
		各コマにおける授業予定	フィールドワークのまとめ発表 1G 10分(発表7分・質疑応答3分)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	見守り支援する取り組みの実際が理解できる	配布資料	認知症サポーター養成講座を受講後、学びをまとめ、指定日時に提出
		各コマにおける授業予定	認知症サポーター養成講座受講(豊中市社会福祉協議会)		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域での暮らしを支えるしくみに振り返る		※この回は終講試験を行います。授業内での振り返り試験に臨んでください。
		各コマにおける授業予定	終講試験		